

# 緑の宝



2006  
新年号  
No. 38



北海道鶴居村のタンチョウ

目

会長あいさつ	P2
社団法人 静岡県造園緑化協会 会長 乗松文男	
知事あいさつ	P3
静岡県知事 石川嘉延	
部長あいさつ	P4
静岡県環境森林部長 府川博明	
05 住まい博県住宅展と	
第三回しづおか環境・森林フェア開催	P5

次

十七年度建設産業構造改善推進のつどい開催される	P6
受賞者紹介	P6
農林業高等学校実習生リポート	P7~10
造園施工管理技士会だより	P11
第7回 緑・花文化の知識認定試験無事終了 「花のある庭造り」を学ぶ	
話題の森・お知らせ・編集後記	P12

# 会長あいさつ



社団法人

静岡県造園緑化協会  
会長 乗松文男

新年明けまして、おめでとうございます。  
会員の皆様方にはつつがなく新春を迎えた事とお慶び申し上げます。

昨年は愛知県に於て万国博覧会「愛・地球博」が開催され大成功で閉幕致しましたが、緑は都市の肺と言う発想の「呼吸する緑の壁」に代表されるような都市緑化対策が大きく取り上げられておりました。又昨年は京都議定書が発効され地球温暖化ガス吸収源対策としての緑化は、国民にとっても身近な対策源であるとして、京都議定書目標達成計画にも盛り込まれております。政府の「緑の政策大綱」に基づく環境緑化促進は着実に展開されてくると思われます。

こうした環境保全への社会の要請に応える為に直接に携わる我々造園業界に与えられた責任も大変重く尚一層の緑化研修、技術の研鑽に努めなければならぬと思います。緑豊かな国土と、人々に安らぎと潤いをもたらす花との育成保全に取り組み、誇りをもって社会に貢献することが、公益法人として我々に与えられた責務であると

思います。さて世情では、日本経済は確実に上昇気運であると伝えられておりますが我々の業界は依然として低迷を続け苦難な経営を余儀なくされております。工事量の著しい減少に伴う不正な低価格競争が追い討ちを掛けております。競つてよいのは技術力であり、正当な品質確保であります。良い物を安く速くは我々のモットーであります。此のような不当なダンピングで果して企業としての採算が取れるのか。又本当に良い物が造れるのか、危惧される所であります。

昨年末には建築物の強度で偽造設計が発覚され大きな社会問題となりました。これら一連の問題も低価格競争が関係しているとは言い切れない「品質確保と安全」と言う一番重要な事項の偽造であり、断じて許されるものではありません。我々も企業として生き残る為にも不正な行為は絶対許さず、広く社会に信用されるべく品質、性能、技術力の向上に一段と励んで参らねばならぬと思いま

す。

寒い時こそじっと耐え大地にしつかりと根を張りやがて来る春を持つ大樹のように、近い将来に明かるい展望を託してこの厳しい状況下を乗り切って参りたいものであります。

今後も協会運営に対する会員皆様方の御理解と御協力をお願い申し上げると共に皆様方の益々のご発展ご健勝をお祈り申し上げまして新年の挨拶と致します。

## 草木余話

■オオイヌノフグリ

（ママノハグサ科）

「戊」年にならん植物名を調べてみたがどうも様起のよきものがない。樹本名で冠にイヌが付くものは「セモ」とか質が劣るとかいう意味があつて新春にふさわしいものがない。

ここで取り上げたオオイヌノフグリは、明治時代には渡米していた西アジア原産の帰化植物。農作物では雑草で邪魔の扱いにされるが、春まだ浅い頃、瑞穀色に咲く様は春の到来を告げてくれる。和名の由来は花の散ったあとにぶら下がる果実をイヌの陰襄に見立てたもので何ともユーモラスな名前だ。

学名はペロニカ・ベルシカ・ペロニカとは処刑場へ行くキリストの汗を拭いた聖女の名前という。まさに聖女にふさわしい清楚な色。花の姿で和名との対比がおもしろい。



# 知事あいさつ



静岡県知事

石川嘉延

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、新年の抱負も新たに、すがすがしい年明けを迎えたことお慶び申し上げます。また、今年は静岡県造園緑化協会が設立四十年を迎えるとともに、誠に喜ばしい新年の始まりとなりました。

本県では、「富国有徳 創知協働」を県政運営の基本方針として、安全で安心して暮らすことができる、将米に希望を持てる明るい社会の実現に取り組んでおります。本年も県民の皆様のニーズに応え、「県民暮らし満足度日本一」や「自然環境日本一」を目指して、本県の豊かな資源を大切に保護するとともに、さらにこれを磨き育ててまいります。特に、富士山の世界文化遺産への登録につきましては、観光振興や世界への情報発信につながるなどの効果も期待できますが富士山を人類共通の自然と文化の宝として将来の世代に引き継いでいく責務を自らに課すことにより、我が国の環境保全のシンボルとして、県土全体の自然環境をより高めていくことができるものと考えております。現在、地元市町と「推進協議会」を、山梨県と「合同会議」をそれぞれ設立し、連携を図りつつ取組を進めていきます。併せて、県民、団体、事業者等の

皆様と協働し、富士山及び周辺地域の総合的な環境美化に努めてまいりますので、今後とも世界文化遺産登録に向けて御支援・御協力をよろしくお願ひいたします。

さて、本県の南アルプスや天竜美林などの多種多様な森林がもたらす恵みは、県民共有の財産ですが、一方

で、地球温暖化、自然災害の増加等、荒廃森林がもたらす大きな課題については、本県ではその再生に向けた検討を続けて参りましたところ、昨年の県議会十二月定期会において、森林との共生を図るとともに、環境負荷の少ない持続的発展が可能な社会の実現を目的とする「静岡県森林と

県民の共生に関する条例」を制定いたしました。また、併せて、国土保全・災害防止・資源の循環に代表される森林の多面的機能が最大限に発揮できる森林整備を進めるため、「静岡県森林づくり県民税条例」を制定し、平成十八年四月一日から施行することとしたところであります。

会員の皆様におかれましては、森林の公益的機能の重

要性について充分に御承知のこととは存じますが、この誇りある郷土の森林を保全するための新たな仕組みについて、何とぞ御理解と御協力をお願い申し上げます。花と緑に囲まれた美しい県土づくりのために、緑化意識向上による影響は誠に大きく、今後も貴協会の活動に期待しているところであります。

結びに、本年が貴協会の一層の飛躍の年となり、会員の皆様がますます御発展されますことを祈念しまして、私のあいさつといたします。



## 草木余話

### ロウバイ(ロウバイ科)

十一月も下旬になるとウメよりも早くから咲くとした香りを放ち、正月の訪れを知らせてくれる。ロウバイ

に似た香りの花を開くからとも、花が蜜腺を発達させるからともいわれる。和名の由来は漢名の「梅柳」の音読みだが、臘月(陰暦十一月)の異称にウメに似た香りの花を開くからとも、花が蜜腺を発達させるからともいわれる。

中国原産の落葉低木で庭木として古くから植栽されてきた。からみ枝、逆枝が出るので枝抜き剪定が必要。また、ひこばえも出るので見つけ次第切除する。美しい樹形にするには努力を要する樹木だ。

# 部長あいさつ



静岡県環境森林部長 府川 博明

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新年の御祝辞を申し上げますとともに、今年は、社団法人静岡県造園緑化協会の創立四十周年という記念すべき節目を迎える。協会とともに歩んでこられた会員の皆様方には、感謝もひとしおとお喜び申し上げます。また、本県の環境緑化行政の推進に多大なる御尽力をいただいておりますことを、紙面をお借りして改めてお礼申し上げます。

太古の昔から、豊かな緑の森林は、人々の生活を守つてまいりました。私たちは美しい自然の恵みを、未来に継承していく県民共有的財産として認識し、その保全と整備に向けて、全ての県民がそれぞれの役割と責務を果たしていかなければなりません。このため県では、長期的な展望に立つて森林の計画的な整備保全を行なうながら、森林資源の循環利用の促進により持続的活用を図つていくことを目的として、「静岡県森林と県民の共生に関する条例」を制定いたしました。また、この条例の理念に基づき、「静岡県森林づくり県民税」を本年四月から導入し、新たな税金のございさつをいたしました。

## 草木余話

### アオキ(ミズキ科)

日本特産の常緑低木。耐陰性が極

めて強く、革質で光沢のある濃緑色の葉は逸品で、防火、防風、防潮の働きも持っていることから観賞用として日本だけでなく、世界各地で広く栽培されている。果実が黄色や白色に熟するもの、葉に黄または白の斑が色々の模様に入るものなど多くの品種があり出されている。

名前の由来は、その名のとおり幹や枝まで緑色をしていることによる。雌雄異株であるので青い実を觀賞するなら雌株を植えることが必要。

かつて農家では畠耕用として牛馬を飼育していたが、その肥料は今のように購入でなく、すべて農家自身で手当をしていた。その中に冬季の貴重な青も

のの肥料としてアオキの枝葉があつた。



## 05 住まい博県住宅展と 第三回しづおか環境・森林フェア開催

「きっと見つかる、安全・安心・快適住まい」(住宅展)とい  
ま、考え方、環境のこと・森のこと(環境・森林フェア)をテ  
ーマに、十月七日～九日まで静岡市駿河区曲木のツインメッセ  
セ静岡で、二〇〇五年住まい博静岡県住宅展と第三回しづ  
おか環境・森林フェアが同時に開催され、県造園緑化協会と  
造園施工管理技士会共同出展した環境・森林フェアは北館を  
会場に繰り広げられ三万二千人の入場者でにぎわった。



石川知事、大橋県議会議長と

開会式は十  
月七日、午前九時  
四十五分から開  
催されました。事  
らのあいさつの  
係者出席のもと  
に挙行され、知  
事の準備やその経  
費、第二回は浜  
名湖花博の本番  
で出展できず、初  
めての出展とな  
る

った。会費減収の折、「小間一  
七m×一、七mを二小間併せて  
一つの作品を制作しての共同出  
展となつた。

設計は造園施工管理技士会

の月野敬彦会長、施工は技士会  
と協会中部支部で行い、施工費  
も半分。施工は前日のみ  
であつた。忘れかけてしまった  
昔の風景を水車に託し、春より  
生まれ出される豊かな水を大切

にしたい。水の浄化作用に  
必要な水生植物等も配植  
し、自然のサイクルを表現  
したイメージの庭園で、実  
際に水の力で回転する水  
車の前にはいつも人だから  
が出来ていた。

会期中、午前と午後に分  
け技士会役員と協会中部  
支部会員で当番にあたり、  
パンフレットと草花の種子  
を配布した。初日には会場  
を巡回して来た石川知事  
と当協会顧問でもある大  
橋正己県議会議長を囲ん  
で記念撮影も出来た。



施工中の庭園



完成した庭



回転する水車に見る児童たち

## 十七年度建設産業

### 構造改善推進のつどい開催される

県と当協会も加入する県建設産業団体連合会(伊藤孝会長)は、「二十八日、共催で「十七年度建設産業構造改善推進のつどい」を静岡市葵区の県男女共同参画センター「あざれあ」で開催した。当協会会員十名を含め二三〇人が参加した。つどいでは、(株)森造園・海野豊氏ら十五人が十七年度の県優秀施工者知事顕彰の表彰を受けた。式典終了後、国土交通省中部地方整備局の木下誠也企画部長の「公共工事品質確保法セミナー」が開催された。

あいさつの西島明信統括監

最初に県土木部の西島明信建設政策統括監が土木部長の代理で代読し、安全で快適な生活を守るために工事を運営するための公共事業の重要性を強調した。また、伊藤孝会長は技術と経営に優れた企業が適正に評価されるよう公共工事品確法の確実な導入に期待したい」とあいさつ。セミナーでは木下部長が、品確法の施工に至る経緯などを紹介し、同法のポイントとして、会計法に欠落していた「発注者の責務」と「価格と品質で総合的に優れた調達の部分を盛り込んだ点と、「発注者が決して万能ではないことを前提に発注者をサポートする仕組みを明確にした」との三点を強調した。また、中部地方整備局の取り組みとして、公共工事発注者

のつどい」を静岡市葵区の県男女共同参画センター「あざれあ」で開催した。当協会会員十名を含め二三〇人が参加した。つどいでは、(株)森造園・海野豊氏ら十五人が十七年度

の県優秀施工者知事顕彰の表彰を受けた。式典終了後、国土交通省中部地方整備局の木下誠也企画部長の「公共工事品質確保法セミナー」が開催された。

活を守るために公共事業の重要性を強調した。また、伊藤孝会長は技術と経営に優れた企業が適正に評価されるよう公共工事品確法の確実な導入に期待したい」とあいさつ。

(以上建設新聞ニュースより)

を説明し、施工する中で、さまざまな問題点を指摘して欲しいと述べた。

上記「平成十七年度建設産業構造改善推進のつどい」の席上、(株)森造園の海野豊氏が、優秀施工者知事顕彰の受賞者として表彰されました。

おめでとうございます。  
海野豊氏は、(株)森造園に入社して二十三年、公園整備工事、道路绿化工事の現場代理人、監理技術者、主任技術者として現場の工程管理及び現場指導に当たってきた。

自らの役割をもって果たし、仕事に対する熱意を持ち、部下にも協力会社にも信頼は厚い。技術力、指導力、管理力に優れ、一級造園施工技士となり、工事成績評価も高い。

### 受賞者紹介

海野 豊氏 (株)森造園



セミナー開催

# 農林業高等学校実習生リポート

## ●集中する事の大切さと経験のもう意味深さ

県立静岡農業高等学校二年 大矢部 洋明

本年も農林業高等学校の環境系の実習生を会員が受け入れました。静岡農業高等学校では四十一名の生徒を中部支部の会員十七社が、磐田農業高等学校では二十一名を九社が受け入れました。また、天竜林業高等学校では最寄りの会員が、会員外の企業者が三名を受け入れてくれました。実習期間は長い中の四日間、苦労も多かったようですが将来の造園建設業を担う生徒から思いおもいの感想文をいただきましたので紹介します。ありがとうございました。

がとうございました。

片付けや除草の作業では、協力して作業する人の大切さがよくわかりました。また、学校ではできなかったCADを用いて簡単な図の作成を体験することができてよかったです。また、茶薪蟻のような虫に刺される事で色々知る事ができました。この四日間で道具の使い方のコツもわかり、とてもいい体験ができる本当によかったです。

これができます。

チーンソウも使用させてもらひ

ヤキを刈定たりですが振動が強く体がもつといかねばなりません。それは、道具の使い方や、勇気、効率をあげることが可能である事や、安全に作業する事がどれほど大切であるかと協力して作業をやり、安全に作業しなければならないという事の重要など、様々なです。

他にも普通だった面倒がられてしまう掃除も造園の仕事では、とても大切な作業の一つだということを学びました。道具の使い方では、勇

気も重要な事で、それが何よりも大切です。道具の使い方では、勇気も重要な事で、それが何よりも大切です。

私は今回インターナーシップで学べた多くの事は、これから自分のこと、他人達にたくさん教える事ができます。初めての機械操作でうまく刈ることができなかつたが、片付けでの分を挽回できました。

一日目は五本樹木を剪定、モロ

## ●樹木の名前・特徴を知つておくことが必要

県立静岡農業高等学校二年 深澤 典久

## ●人と協力して作業を行うことの大切さ

県立静岡農業高等学校二年 濑平 昌也

## ●掃除も大切な作業

県立静岡農業高等学校二年 永澤 阿連

## ●松の剪定ができるようにながるよい経験

県立静岡農業高等学校二年 田代 温子

## ●松の剪定ができるようにながるよい経験

県立静岡農業高等学校二年 松下 好佑

三日間を通して、約100種類くらいの樹木や山野草について知ることができました。やはり造園の仕事をするために、樹木の名前・特徴を知っておくことが必要不可欠なので造園の仕事で一番大切なことを学はせてもらいました。だいたい今まで、三日目、四日目の実習ではどんなに剪定されてもその後の片づけやそれ自身をしきしかりやらなければその庭をきれいに見せることができないといふことで片づけやそうじの大切さ、そのためのゴミや丸く切るためのゴミがわざとのようにゴミやサミをつかえず早く簡単に片づけることができるのかなど、すごく重要なことを教えていただきました。

この四日間の実習で、本当に造園の仕事を学ばせてもらいました。

この四日間のインナーシップを通して私は道具の使い方により、作業効率をあげることが可能である事や、安全に作業する事がどれほど大切であるかと協力して作業をやり、安全に作業しなければならないという事の重要など、様々なです。他にも普通だった面倒がられてしまう掃除も造園の仕事では、とても大切な作業の一つだということを学びました。道具の使い方では、勇気も重要な事で、それが何よりも大切です。

私は今回インナーシップで学べた多くの事は、これから自分のこと、他人達にたくさん教える事ができます。初めての機械操作でうまく刈ることができなかつたが、片付けでの分を挽回できました。

一日目は五本樹木を剪定、モロ

ヤキを刈定たりですが振動が強く体がもつといかねばなりません。それは、道具の使い方や、勇気、効率をあげることが可能である事や、安全に作業する事がどれほど大切であるかと協力して作業をやり、安全に作業しなければならないという事の重要など、様々なです。

他にも普通だった面倒がられてしまう掃除も造園の仕事では、とても大切な作業の一つだということを学びました。道具の使い方では、勇

気も重要な事で、それが何よりも大切です。道具の使い方では、勇気も重要な事で、それが何よりも大切です。

私は今回インナーシップで学べた多くの事は、これから自分のこと、他人達にたくさん教える事ができます。初めての機械操作でうまく刈ることができなかつたが、片付けでの分を挽回できました。

一日目は五本樹木を剪定、モロ

ヤキを刈定たりですが振動が強く体がもつといかねばなりません。それは、道具の使い方や、勇気、効率をあげることが可能である事や、安全に作業する事がどれほど大切であるかと協力して作業をやり、安全に作業しなければならないという事の重要など、様々なです。

他にも普通だった面倒がられてしまう掃除も造園の仕事では、とても大切な作業の一つだということを学びました。道具の使い方では、勇

気も重要な事で、それが何よりも大切です。道具の使い方では、勇気も重要な事で、それが何よりも大切です。

私は今回インナーシップで学べた多くの事は、これから自分のこと、他人達にたくさん教える事ができます。初めての機械操作でうまく刈ることができなかつたが、片付けでの分を挽回できました。

一日目は五本樹木を剪定、モロ

ヤキを刈定たりですが振動が強く

枝の見極めが理解できなく、難しかったです。『長いと刈定できればいいんだ』と言わされたので、刈定できるようにならんばかりだと思います。

一日目はボット苗の鉢を運び、自分たちが鉢あげた苗が将来大きくなるって、使用されたらいいん嬉しいと思います。

最終日の四日目は、初めて刈り込み実習ボットマーを使用させてもらい、均等に刈り込むことを必要だい。樹木の樹冠も先に考へてなければならないと思いました。モミジは自然形の手のひらのよう、剪定するなど、モミジが可愛いことなども教えてもらいました。剪定していく楽しさが感じました。

四日間、教えてもらないうちにこれから生きかし、他の人よりも努力したいと思います。四日間お世話をありがとうございました。ありがとうございました。

## ●造園の面白さ、大変さなどたくさん学ぶ

県立静岡農業高等学校二年  
竹下 哲人

八月二十九日（土）九月一日までの四日間、森園園さんにお世話をになりました。一日目では、地震防災センターの芝生内の除草作業を行った後に刈り取った芝生が終了した時点には、達成感が湧きました。そして、一日目には、静岡空港に行き管理区域の距離測量を行ったところ、

枝の見極めが理解できなく、難しかったです。『長いと刈定できればいいんだ』と言わされたので、刈定できるようにならんばかりだと思います。

一日目には、静岡空港に行き管理区域の距離測量を行ったところ、

には園芸関係の事から、測量関係のさまざまな仕事がある事を教わる事ができ、三日目には街路樹の剪定や

片付けの時には近所の人や歩行者から、緑化になれたね！助かるよ！などの声をかけていただきとても作業をしていて気持ち良かったです。

四日目では、ボリュームセンターやツキの刈り込みや剪定などさまざまな事を教わる事ができました。この四日間で造園の面白さ、大変さなどたくさん学び、またこの造園実習を通じて、たくさんの人の交流できました。

## ●一人前になるにはまず体力作り

県立静岡農業高等学校二年  
森藤 佑介

この四日間、主にやった実習は、社員の方が草刈り機で雑草を刈りそれを私たちが「かき」でかき集めるというものです。

大変だった事は、雨が降ってきて草が重くなってきた事と湿度が上がりとても暑くなったりです。その暑いとでも暑くなったりです。その後、申込の方々のベスが落ちないのは、さすがにプロだと思いました。またこの四日間でかなりの体力を消耗しました。

一日目には、静岡空港に行き管理区域の距離測量を行ったところ、

## ●「お金をもらうのは大変」という言葉が印象的

県立静岡農業高等学校二年  
小澤 泰介

今回のインターンシップは、大変な時もありましたが非常に良い体験をさせていただきました。

一番勉強になったのは、「日目と二日目に行った土のう袋の運搬作業です。一つ一〇kg近くある土のう袋を最初は一人で運んでいましたが、ラフに力ильно運んで荷台に倒れると、「一人で協力して運んで荷台がいい」と教えていただき勉強になりました。

また、トランクから土のう袋を降ろす時も荷台にいる仲間とリズムよく協力して荷台にいる方が効率が良いと教えてもらいました。荷台にいる仲間とリズムよく協力して荷台にいる方が効率が良いと教えてもらいました。

土のう袋を積む時も、後の人を使いやすいように丁寧に積んでいくことで、子を見ながら息を合わせてやらなければならぬ」とを体を通して実感しました。

三日目、四日目には機械を使用しての作業で、トリマーや草刈り機を朝比奈さん達は軽く操作していましたが、使ったままの運びで動いてくれず、刈り落しが続りました。しかし、その後に機械を使用する上でのコツを教えていただき、非常に勉強になりました。

一日目には、静岡空港に行き管理区域の距離測量を行ったところ、

## ●多くの知識が身に付いた

県立磐田農業高等学校二年  
堺田 和臣

現場自習をやるのには体力も必要だと感じました。次にシートで集めた芝生を車に乗せました。多くの量や広い範囲のものを運ぶときは普通によりシートなどを有効に使った方が速いということが分かりました。

二日目は草取りをしました。そこは、蚊や蛇なども出ていました。草取りをしたときには蝶が出て、斜面の草取りをしたときは蝶なども多くて下見に困りました。特に注意が必要だと思いました。芝生集めなどの作業が出来るようになりました。また、花壇の草を取り終えたのを見ると花壇が奇麗になって達成感なども実感しました。最初の日は時間が長く作業を防ぐための服作業が早く作業が高くなってきて作業の速さが速くなっていました。学校の実習より時間が長く出来ると思っていました。初めは單純に出来ることを思っていましたが、作業を防ぐための服作業が早く作業が高くなってきて作業の速さが速くなっていました。学校の実習より時間が長くなる範囲が広いので造園の仕事

が高くなってきて作業の速さが速くなっていました。最初の日は時間が長く感じたけれど慣れると時間が早く感じました。

四日目の帰る前に造園の仕事についての話を聞きました。造園の仕事は植物を扱っているので植物について多くの知識を知っています。毎日同じような仕事をするので植物を扱う仕事が好きでないと出来ないと言つていました。僕は、花や木の剪定、移植以外でも除草や消滅などの多くの仕事をして園芸の技術を身につけないと出来ないと思いました。また「家庭」という字の話を聞いて家には庭が必要で家と同じくらい大切なものだと思いました。

四日間農場活動をして、作業は大変だったけれど、消毒をする時には人や車が多い日間を避け早朝などに作業をする努力や工夫などや造園の仕事について知らなかつたことが分かりました。

このことはとても大変な事なので今以上に努力をしてがんばります。これらの生活に役立っています。



現地自習をやるのには体力も必要だと感じました。次にシートで集めた芝生を車に乗せました。多くの量や広い範囲のものを運ぶときは普通によりシートなどを有効に使った方が速いということが分かりました。

二日目は草取りをしました。そこは、蚊や蛇なども出ていました。草取りをしたときには蝶が出て、斜面の草取りをしたときは蝶なども多くて下見に困りました。特に注意が必要だと思いました。芝生集めなどの作業が出来ないようになりました。また、花壇の草を取り終えたのを見ると花壇が奇麗になって達成感なども実感しました。最初の日は時間が長く作業を防ぐための服作業が早く作業が高くなってきて作業の速さが速くなっていました。学校の実習より時間が長くなる範囲が広いので造園の仕事

が高くなってきて作業の速さが速くなっていました。最初の日は時間が長く感じたけれど慣れると時間が早く感じました。



と云ふもした。

またもう一つ感じたことがあります。それは、言わゆる仕事だけではなく、自分から仕事を見つけていくことが大切になるということです。社員の方々も自分の与えられた仕事を終らせることが終わると、また新しい場所で仕事を始めることがわざとらしいのです。他の人の作業を手伝はっていました。そうすることにより仕事のスピードが早い時間で終わることがありました。今まででも先方が同じようになると、またもう一つ感じたことがあります。それは、言わゆる仕事だけではなく、自分から仕事を見つけていくことが大切になるということです。社員の方々も自分の与えられた仕事を終らせることが終わると、また新しい場所で仕事を始めることがわざとらしいのです。他の人の作業を手伝はっていました。そうすることにより仕事のスピードが早い時間で終わることがありました。



滋賀で最も充実した日々



このインターンシップでは、仕事のやりがいがあり、一生懸命やる事ができる環境で、自分自身が生まれた仕事があることを実感することができました。また、仕事のやりがいを感じることができました。

仕事の  
ことが  
もや  
にこ  
終わる  
んなに  
う喜  
ことな  
のイ  
んのこ  
いま  
体験を  
でした  
前名前  
改名す  
よ。

●初めての除草剤散布



商業高等学校二年  
花井 雄太郎

プロアミンエンド等の「うるうる」除草剤を散布しました。除草した草は、メシヒバ、ホトトギス、カラスムギなどがあつたことは、名前ばかりじめて聞く所でした。除草剤散布は、つたなかったので、何ヶ所か散布車を走らせて、し忘れがちなだけど、一回目や二回目にはしっかり散布することができました。

一日目は、龍川に行つて、公園のモクセイの剪定をしました。学校ではモクセイをやつづれと言われたので、何でもさす見つけぱりで、たがんだんできるようになり、一本も切ってきた時は、うれかったです。

二日目は、草刈り散布とツヅジ、オムラサキの芽つみをやりました。オムラサキの芽つみは、一日目にやつづれているので、手ぎわよく付つておいたところが、手入れは刈り込みが多めで、ツヅジの手入れは刈り込みが多めで、手をもたげず、芽を一つ一つ取つておきました。一本の木についている芽の数が多かつたので大変なだけです。

四日目は、「二種類のマメのみどりつ



造園施工管理技士会だより

第七回 緑・花文化の知識認定試験無事終了

国土交通省の外郭団体・公園緑地管理財団が実施する緑・花文化知識認定試験は本年で七回目を迎へ、試験実施の広報から管理運営まで委託された社・静岡県造園緑化協会は、試験官に造園施工管理技術士会常任理事に委嘱、十一月十三日に静岡市葵区の県総合社会福祉会館で実施した。PR不足のためか受験者は昨年より大幅減の、三二名であった。



保護者に付き添われて 10才での挑戦者(中央)

試験問題は自然科学、環境生活文化、芸術文化など植物を取りま  
行われている。試験会場の運営は厳格で大学入試共通一次試験と同じやり方。



認定級の特許から五級までの六階級の認定を受けた。特許を三回取  
得すると、特別称号「緑文化士」として認定される。

A photograph of a classroom or lecture hall. Students are seated at long desks arranged in rows, facing towards the front of the room where a teacher stands near a whiteboard. The room has white walls and a large window on the left side.

緊張の面持ちで注意事項を聞く受験者



講師の良知知子氏



石組みの間に草花を配植して彩りを



### 熱心に受講する会員

これは昨年の浜名湖花博を省みて、技術者として草花のことをあまりにも知ら過ぎたことから中部地区の役員会で企画したもの。今まで庭を作つても草花を取り入れることは少なく、施工は完成した庭を見眺めるだけで手出しが出来ない。それでは駄目だと、これらの庭作りにあたり、花のある庭施工も参加できる庭を創造する必要だと計画したもの。講習会では技士会員だけではなく、援助会員でもある(社)静岡県造園協同組合の皆様が、この企画に賛同して下さいました。

「花のある庭作り」を学ぶ

# 話題の森

連日のように耐震強度偽造問題が大きく報道され、国も地方も業界も激論に見舞われている。辞書を引くと「士とは学問・道徳を修めた者」とある。渦中の人物は學問は修めたが道徳は修めていないのか。それにしてみると多くの人生にかかわること、土の風上にも置けない。この真相は明らかになるだろうが、その他の人は過当競争、低格競争が潜んでいるように思えてならない。造園業界は直接人命にかかわることはないとしても公園等の建設が激減し、公園・街路樹の管理過当競争は目にあるものがある。この事件を他山の石としないで公共緑地の意義を考えて管理しなければならない。

お知らせ  
新年おめでとうございます。  
本年は協会設立四十周年の記念すべき年です。記念式典は四月二十七日の総会に併せて挙行します。今から予定頼ります。

## 時評

耐震強度偽造問題で、関係者たちの国会での醜い責任のなさり合いを見ながら、そこにはいなかった「建築士に対する」



川口 良子  
(川口建築都市設計  
事務所専務取締役)

同じ建築士として、「なんども悪意がない」としたんだ」と何度も心中でつぶやいた。誰が一悪意いかと言えば、実際に偽造行為を行った姉妹建築

## 耐震強度偽造問題

士であり、偽造した構造計算に基づいて設計を行った元設計の建築士であることは明らかである。元設計の建築士なら、それで経験に基づけば、必要強度の三七割の構造を「おかしい」と直感で分らなければ「おかしい」のである。一定規模以上の建築の設計・施工の常識や規範によれば、建築士はかかる低いレベルではあるが、大きな課題として、建物のエンジニアが施工主と一緒に担当する。建築の体制は、作り手、充実した監理が求められる。ここにぎり手ではなく、エンジニアに、手筋を怠らぬいた体制の再構築の必要性を感じていればならない。

### 建築が高度化する

#### 執筆者略歴

監理を行ったためには、「建築士」の資格が必要である。ほいそくはござい中で建設される建物はある建築者の味方として、作り手、売り手から独立した専門家ではないわけであ、彼の偽造しなければ、今回の問題はないとしたんだ」と何度も心中でつぶやいた。誰が一悪意いかと言えば、実際に偽造行為を行った姉妹建築が、一軒の立場を保つことが重要である。最もやつぱり、「建築士は仕事をさせたところ」なる場合、不況で過当競争状態の設計競争で、建築士がエンジニアの小さな利益に囚われて、業界を崩壊せざるを得ない理由を崩壊させた同業者の姿が、一矢の立場を堅持し、業界を離れる耳にする。建築

●講演会の開催  
題 目 開催場所 開催日時  
題 目 演 師 演題  
題 目 演 師 演題  
題 目 演 師 演題